



As-me ESTELLE

## 平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月13日  
上場取引所 東

上場会社名 As-meエステル株式会社  
 コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 定時株主総会開催予定日 平成26年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 平成26年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 丸山 雅史  
 (氏名) 羽生 達夫  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5777-5120  
 平成26年6月30日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期の連結業績(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期	34,421	15.5	2,255	△3.1	2,637	3.3	1,661	19.3
25年3月期	29,809	2.2	2,328	△7.4	2,554	△0.5	1,392	26.5

(注) 包括利益 26年3月期 1,702百万円 (19.5%) 25年3月期 1,424百万円 (30.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	148.91	—	13.5	8.2	6.6
25年3月期	124.81	—	12.6	8.2	7.8

(参考) 持分法投資損益 26年3月期 一百万円 25年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	33,589	13,058	38.9	1,170.54
25年3月期	31,095	11,624	37.4	1,041.92

(参考) 自己資本 26年3月期 13,058百万円 25年3月期 11,624百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期	2,489	△1,282	△778	6,323
25年3月期	1,924	△137	△1,765	5,891

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	267	19.2	2.4
26年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00	301	18.1	2.4
27年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		24.2	

(注) 平成26年3月期の1株当たり期末配当金は、創業60周年記念配当3円00銭を含んでおります。なお、本記念配当については、本日、「配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」において開示しております。

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,386	4.2	531	△34.7	487	△52.8	196	△65.1	17.57
通期	35,137	2.1	2,111	△6.4	1,994	△24.4	1,108	△33.3	99.32

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更等)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

26年3月期	11,459,223 株	25年3月期	11,459,223 株
26年3月期	303,083 株	25年3月期	302,883 株
26年3月期	11,156,144 株	25年3月期	11,156,410 株

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	2
2. 企業集団の状況 .....	3
3. 経営方針 .....	4
(1) 会社の経営の基本方針 .....	4
(2) 目標とする経営指標 .....	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題 .....	4
4. 連結財務諸表 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
5. その他 .....	14
役員の異動 .....	14

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### （当期の経営成績）

当連結会計年度におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた積極的な財政・金融政策が好感され、円高是正が進み、株価は上昇しました。また、企業業績が改善し、これを背景に雇用・所得環境にも改善がみられ、個人消費は、消費増税前の需要拡大と相俟って堅調に推移しました。

当社グループの当連結会計年度における店舗展開としては、当社では15店舗を出店、9店舗を閉鎖し、期末店舗数は373店舗となり、メガネ小売のキンバレー(株)では5店舗を出店、1店舗を閉鎖し、45店舗となりました。平成25年5月8日に子会社化したアクセサリ販売を営む(株)ブルームニー、(株)ブルーミング及び(株)ブルーム・アウトレット（以下、ブルームグループといいます。）では、3社合計で7店舗を閉鎖し、期末店舗数は20店舗となり、消化仕入契約に基づく百貨店等での販売は114箇所となりました。

なお、ブルームグループ3社は、平成26年3月に合併し、商号を(株)BLOOMに変更いたしました。

当連結会計年度の業績は、売上高は、第1四半期連結会計期間末に連結したブルームグループの売上の寄与などにより344億21百万円（前年同期比15.5%増）となりました。営業利益は、ベトナム製造子会社での円安に伴う製品製造原価の増加などにより、22億55百万円（同3.1%減）となり、経常利益では、海外子会社で発生した為替差益などにより26億37百万円（同3.3%増）となりました。当期純利益は、固定資産除売却損の減少などにより、16億61百万円（同19.3%増）となりました。

#### （次期の見通し）

次期の取組みとしては、店舗展開では、引き続きスクラップアンドビルドと既存店の改装を進め、店舗鮮度の向上を図ってまいります。また、(株)BLOOMを含めた当社グループ全体の多様な顧客層への認知度の向上を図ってまいります。

次期の通期連結業績予想については、売上高は、(株)BLOOMの売上が通期で寄与することから、351億37百万円（前年同期比2.1%増）を見込んでおります。損益では、新規の販売促進企画・広告宣伝などで経費が先行し、また、負ののれんの償却が当期で終了したことなどから、営業利益21億11百万円（同6.4%減）、経常利益19億94百万円（同24.4%減）、当期純利益11億8百万円（同33.3%減）を見込んでおります。

### (2) 財政状態に関する分析

当連結会計年度末のキャッシュ・フローは、現金及び現金同等物残高は前連結会計年度末の58億91百万円より4億31百万円増加し、63億23百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは24億89百万円のプラス（前年同期は19億24百万円のプラス）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益23億63百万円、減価償却費5億98百万円及び仕入債務の増加5億79百万円の資金増加と、たな卸資産の増加9億46百万円及び負ののれん償却額3億27百万円の資金減少によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは12億82百万円のマイナス（前年同期は1億37百万円のマイナス）となりました。これは主に、敷金保証金の回収4億30百万円及び定期預金の払戻3億円の収入と、ブルームグループの株式の取得9億70百万円、固定資産の取得9億54百万円及び敷金保証金の差入1億25百万円の支出によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動におけるキャッシュ・フローは7億78百万円のマイナス（前年同期は17億65百万円のマイナス）となりました。これは主に、配当金の支払2億67百万円、長期借入金の減少2億65百万円（純額）、社債の償還1億20百万円及び短期借入金の減少90百万円（純額）の支出によるものであります。

### (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社における利益配分につきましては、経営の重要課題の一つとして位置付け、株主を含む当社の様々な利害関係者に対しましても、業績又は成果に裏付けられた成果の配分を行うことを基本としております。従って、利益配分につきましては、これを基本とし、また今後の事業展開を十分に勘案し、内部留保とのバランスを考慮しつつ安定した配当を心がけてゆきたいと考えております。

当期の配当につきましては、上記の基本方針と、当期の業績及び現在の財務状況等を総合的に勘案し、1株当たりの普通配当を24円とし、さらに当社の創業60周年を記念いたしまして3円を追加し、1株当たり27円の期末配当を予定しております。なお、本記念配当につきましては、本日、「配当予想の修正（記念配当）に関するお知らせ」において開示しております。

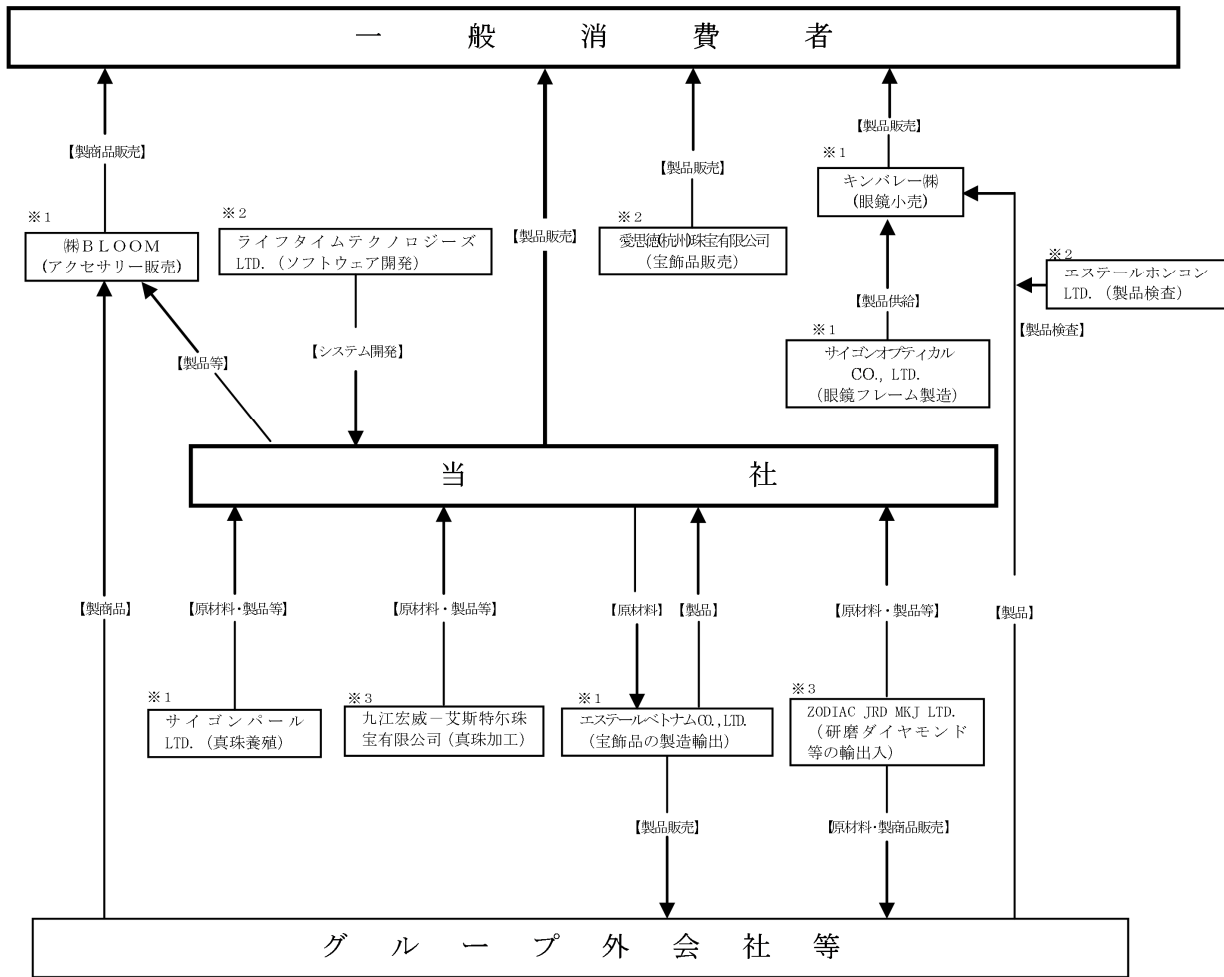
次期の配当につきましては、現時点では、1株当たり24円の期末配当を予想しております。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、As-meエステール株式会社（当社）、子会社9社（キンバレー株式会社・谷口ジュエル株式会社・株式会社BLOOM・エステールベトナムCO., LTD.・サイゴンパールLTD.・エステールホンコンLTD.・サイゴンオプティカルCO., LTD.・ライフタイムテクノロジーズLTD.・愛思徳（杭州）珠宝有限公司）及び関連会社2社により構成されており、事業内容は、指輪、ネックレス、ブレスレット、ピアス、イヤリング、アクセサリー、眼鏡等の製造及び販売を主に営んでおります。

なお、連結会社のセグメントの区分は、当社、エステールベトナムCO., LTD.、谷口ジュエル株式会社、株式会社BLOOM及びサイゴンパールLTD. が宝飾品に属し、キンバレー株式会社及びサイゴンオプティカルCO., LTD. が眼鏡に属しております。

当社及び関係会社の当該事業に係る位置付けは、次のとおりであります。



(注) ※1 連結子会社

※2 持分法非適用非連結子会社

※3 持分法非適用関連会社

4 谷口ジュエル株式会社は、当連結会計年度において事業活動を休止しております。

なお、当期の主な関係会社の異動は以下のとおりであります。

- ・平成25年5月に、オリジナルアクセサリーの企画・販売を営む株式会社ブルームニー、株式会社ブルーミング及び株式会社ブルーム・アウトレットの全株式を取得し、子会社化しました。これら3社は、平成26年3月に合併し、商号を株式会社BLOOMに変更いたしました。

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、製造から販売までの一貫体制を敷いていることが最大の特徴であります。その特徴を最大限に活かし、高品質で信頼性の高い商品をお客様に提供するために、グループ内全ての部門において、人・物・金・時間等の経営資源の無駄を省くための改善策を実施することにより、業務のスピード化と効率化を推進することに注力いたしております。また、株主を含む全ての利害関係者に対しては、あらゆる局面において、企業価値の最大化を念頭に置いた意思決定を心がけ、また社員にとってはその処遇において、成果が報われる会社作りに注力することにより、当社グループとして社会的責任を果たしていくことを経営の基本方針としております。

#### (2) 目標とする経営指標

グループとして、宝飾品の製造から販売までを営む当社は、経営の基本方針を徹底することにより売上高のみならず、売上総利益、営業利益向上にも意を用いることにより、企業価値を高め、ROEの向上に繋げることに努めてまいります。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

中長期に対処する課題としましては、当社グループの最大の特徴である「製造から販売までの一貫体制」をさらに充実させることとあります。グループ内全ての部門において、無駄、無理、ムラを排除することにより、それぞれの部署における能力を強化し、コスト競争力や商品開発力を高め、その結果として品質の向上とコストの削減を追求し、顧客満足度を高めてまいります。

今一つの課題は、販売力の強化であり、これについては「地域に密着した店作り」を基本としており、その目的に即した採用や教育を実施してまいります。また販売力強化のもう一つの柱である店舗展開については、各商圈の変化や店舗採算等を検証しつつリニューアルも含め、今まで同様スクラップアンドビルドを進めてまいります。

また、商品戦略の骨格として「ブランド戦略」を推進しておりますが、引き続き当社グループの「製販一貫体制」の特徴を最大限に活かし、お客様のニーズを的確に捉えてまいります。

さらに、平成25年5月に子会社化した㈱BLOOMの扱う「BLOOM」ブランドは、若年層を中心に根強い支持を受けておりますが、このブランド力を更に高めるとともに、グループ全体としては、多様なお客様層に支持をいただけるブランド展開を進めてまいります。

このように当社各部門の全ての力をお客様に満足していただける商品を提供することに集中し、当社グループ全体の業容の拡大に取り組んでゆく所存でございます。

## 4. 連結財務諸表

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,191	6,323
受取手形及び売掛金	2,621	3,009
商品及び製品	8,980	10,457
仕掛品	1,746	1,777
原材料及び貯蔵品	1,820	1,933
繰延税金資産	254	265
その他	147	213
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	21,762	23,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,958	3,180
減価償却累計額	△1,871	△1,859
建物及び構築物 (純額)	1,086	1,321
工具、器具及び備品	2,444	2,791
減価償却累計額	△2,056	△2,136
工具、器具及び備品 (純額)	387	654
土地	50	42
リース資産	108	108
減価償却累計額	△92	△103
リース資産 (純額)	16	5
その他	192	194
減価償却累計額	△99	△99
その他 (純額)	93	95
有形固定資産合計	1,634	2,119
無形固定資産	336	385
投資その他の資産		
投資有価証券	932	889
関係会社株式	30	30
繰延税金資産	358	433
敷金及び保証金	4,559	4,386
賃貸建物	243	-
減価償却累計額	△169	-
賃貸建物 (純額)	74	-
賃貸土地	256	53
その他	1,151	1,312
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,361	7,105
固定資産合計	9,332	9,610
資産合計	31,095	33,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当連結会計年度 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,169	4,753
短期借入金	1,100	1,010
1年内返済予定の長期借入金	3,371	3,735
1年内償還予定の社債	120	-
未払金	887	1,098
未払法人税等	123	731
賞与引当金	408	393
その他	668	927
流動負債合計	10,849	12,651
固定負債		
長期借入金	6,224	5,594
退職給付引当金	1,498	-
退職給付に係る負債	-	1,619
役員退職慰労引当金	474	490
関係会社事業損失引当金	2	2
負ののれん	327	-
資産除去債務	50	53
繰延税金負債	-	85
その他	44	32
固定負債合計	8,622	7,880
負債合計	19,471	20,531
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	6,589	7,982
自己株式	△146	△146
株主資本合計	11,398	12,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353	325
為替換算調整勘定	△128	△67
退職給付に係る調整累計額	-	8
その他の包括利益累計額合計	225	266
純資産合計	11,624	13,058
負債純資産合計	31,095	33,589



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	29,809	34,421
売上原価	11,523	13,139
売上総利益	18,286	21,282
販売費及び一般管理費	15,958	19,026
営業利益	2,328	2,255
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	39	35
不動産賃貸料	28	16
為替差益	83	177
負ののれん償却額	327	327
その他	59	69
営業外収益合計	538	627
営業外費用		
支払利息	246	203
その他	65	42
営業外費用合計	312	246
経常利益	2,554	2,637
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	37	-
受取補償金	-	9
特別利益合計	37	9
特別損失		
固定資産除売却損	889	109
減損損失	36	165
店舗閉鎖損失	5	7
関係会社整理損	0	-
特別損失合計	931	282
税金等調整前当期純利益	1,660	2,363
法人税、住民税及び事業税	325	841
法人税等調整額	△57	△138
法人税等合計	268	702
少数株主損益調整前当期純利益	1,392	1,661
当期純利益	1,392	1,661

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	1,392	1,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△28
為替換算調整勘定	△2	60
退職給付に係る調整額	-	8
その他の包括利益合計	32	41
包括利益	1,424	1,702
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,424	1,702

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	5,420	△146	10,229
当期変動額					
剰余金の配当			△223		△223
当期純利益			1,392		1,392
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,169	△0	1,169
当期末残高	1,571	3,384	6,589	△146	11,398

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	318	△125	-	193	10,422
当期変動額					
剰余金の配当					△223
当期純利益					1,392
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	34	△2	-	32	32
当期変動額合計	34	△2	-	32	1,201
当期末残高	353	△128	-	225	11,624

当連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	6,589	△146	11,398
当期変動額					
剰余金の配当			△267		△267
当期純利益			1,661		1,661
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,393	△0	1,393
当期末残高	1,571	3,384	7,982	△146	12,792

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	353	△128	-	225	11,624
当期変動額					
剰余金の配当					△267
当期純利益					1,661
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△28	60	8	41	41
当期変動額合計	△28	60	8	41	1,434
当期末残高	325	△67	8	266	13,058

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,660	2,363
減価償却費	489	598
減損損失	36	165
のれん償却額	-	22
負ののれん償却額	△327	△327
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	94	△1,499
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	1,633
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	51	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	△14
受取利息及び受取配当金	△39	△36
支払利息	246	203
為替差損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△37	-
関係会社清算損益 (△は益)	0	-
固定資産除売却損益 (△は益)	861	51
売上債権の増減額 (△は増加)	27	△180
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△606	△946
前渡金の増減額 (△は増加)	1	9
仕入債務の増減額 (△は減少)	391	579
未払金の増減額 (△は減少)	97	192
未払又は未収消費税等の増減額	△89	107
その他	△149	△38
小計	2,736	2,897
利息及び配当金の受取額	39	36
利息の支払額	△242	△203
法人税等の支払額	△608	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,924	2,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	300
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	71	-
子会社出資金の取得による支出	△80	△60
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△970
関係会社の整理による収入	6	-
固定資産の取得による支出	△558	△954
固定資産の売却による収入	181	171
敷金及び保証金の差入による支出	△145	△125
敷金及び保証金の回収による収入	468	430
保険積立金の積立による支出	△82	△65
その他	4	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	△1,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10	△90
長期借入れによる収入	3,600	3,550
長期借入金の返済による支出	△4,626	△3,815
社債の償還による支出	△460	△120
割賦債務の返済による支出	△36	△16
リース債務の返済による支出	△29	△17
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△223	△267
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,765	△778
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	24	431
現金及び現金同等物の期首残高	5,867	5,891
現金及び現金同等物の期末残高	5,891	6,323

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、当連結会計年度末より適用し(ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めを除く。)、退職給付債務を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異を退職給付に係る負債として計上いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度末において、当該変更に伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しております。

この結果、当連結会計年度末において、退職給付に係る負債が1,619百万円計上されております。また、その他の包括利益累計額が8百万円増加しております。

なお、1株当たり情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

## (セグメント情報)

## I 前連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」であります。が、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、当連結会計年度よりセグメント情報の記載を省略しております。

## II 当連結会計年度(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」であります。が、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

区分	前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
1株当たり純資産額	1,041円92銭	1,170円54銭
1株当たり当期純利益	124円81銭	148円91銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 「会計方針の変更」に記載のとおり、退職給付会計基準等を適用し、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。

この結果、当連結会計年度の1株当たり純資産額が、0.79円増加しております。

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	当連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
当期純利益(百万円)	1,392	1,661
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	1,392	1,661
期中平均株式数(千株)	11,156	11,156

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当連結会計年度末 (平成26年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	11,624	13,058
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	11,624	13,058
一株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	11,156	11,156

5. その他

役員の異動

該当事項はありません。